

## P15-16 の基本構想のページの後ろに以下のページを挿入

---

### まちづくりの合言葉（案）

高槻市は、大阪・京都の中間。関西のほぼ中央に位置しており、全国に誇れる数多くの歴史遺産を有していることから、古くから交通の要衝、歴史の中心であったといえます。

近年では、高槻インターチェンジ、新名神高速道路の開通により、名神高速道路と新名神高速道路が交差する交通の要衝となったほか、JR高槻駅においては特急列車が停車するなど、交通利便性も飛躍的に高まっています。

また、施策面では、他市に先駆けた取組で、現在では、周辺自治体から注目される存在でもあります。

さらに、市民アンケート結果においては、住み続けたいまちとしての評価も高いことから、高槻に対する市民の愛着も強いと考えられます。

これら、立地面だけでなく、交通利便性、他市に誇れる数多くの特長を有する本市は関西の中央に位置するまちとして、今後もあらゆる人々の期待に応える施策を展開し、訪れたい、住みたい、住み続けたいと思われる都市として成長、発展し続けることを目指し、

### 「輝く未来を創造する 関西の中央都市 高槻」

を、まちづくりの合言葉とし、8つの将来都市像の実現に向け取り組むこととします。